



令和5年度国民体育大会
第43回九州ブロック大会
NATIONAL SPORTS FESTIVAL / KYUSHU BLOCK FESTIVAL

| 馬術競技 |



[主催] 公益財団法人日本スポーツ協会、九州各県、九州各県スポーツ協会
九州各県教育委員会、九州関係競技団体、開催市町、開催市町教育委員会
[後援] スポーツ庁、九州高等学校体育連盟、九州中学校体育連盟
[主管] 大分県実行委員会、大分県関係競技団体



この事業は、
競輪の補助を受けて実施しています。
競輪の補助事業



(6) 馬術競技

1 期 日 令和5年7月15日(土)・16日(日)

2 会 場 豊後大野市

(1) 競技会場 豊後大野市宮三重総合グラウンド三重馬術場

(2) 練習会場 同上

3 種別及び参加人員

区 分		人数及び頭数	参加人員		参加馬数	
			1県あたり	合 計	1県あたり	合 計
監督 (ホースマネージャー)			2 × (7)	14		
選 手	個 人	成年男子	3 × (7)	21	7 × (7)	49
		成年女子	2 × (7)	14		
		少 年	3 × (7)	21		
	団 体	少 年	3 × (7)	21		
合 計			13 × (7)	91	7 × (7)	49

- (注) ・監督 (ホースマネージャー) 2名のうち1名はホースマネージャーとする。
 ・監督及びホースマネージャーは、選手を兼ねることができるが各種別1名以下とする。
 ・予備選手は、各種別 (成年男子、成年女子、少年) にそれぞれ2名登録することができる。
 ・予備馬は、1県3頭とする。

4 競技日程並びに競技種目及び実施要項

【 第1日 7月15日(土) 】 7:00~

競 技 種 目		実 施 要 項
第1競技	成年男子馬場馬術競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
第2競技	成年女子馬場馬術競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 国際馬術連盟制定のセントジョージ賞典馬場馬術課目を実施する。
第3-1競技	成年男子国体総合馬術競技 (馬場馬術)	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。FEI総合馬術競技3スター2021馬場馬術課目Bを実施する。
第4競技	少年馬場馬術競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 国際馬術連盟制定のジュニアライダー個人を実施する。
第5競技	成年男子スピードアンド ハンディネス競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準C, 263条を適用する。 高さ1.30m以下、幅1.50m以下、12障害以内、全長約650m以内とする。
第6競技	少年標準障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準A, 238条2.2を適用する。高さ1.20m以下、幅1.40m以下、水濠幅3.50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500m以内とする。
第7競技	成年女子二段階障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 274条5.3を適用する。高さ1.20m以下、幅1.40m以下、速度350m/分、全長約600m、第1段階7障害、第2段階5障害以内とする。
第8-1競技	少年団体障害飛越競技 (1回戦)	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 高さ1.10m以下、幅1.40m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500m以内とする。

【 第2日 7月16日(日) 】 8:00~

競 技 種 目		実 施 要 項
第3-2競技	成年男子国体総合馬術競技 (障 害 飛 越)	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 高さ1. 20m以下、幅1. 40m以下、障害数10~11/ 最大飛越数14以内、速度350m/分、全長約600m以内 とする。
第9競技	成年男子トップスコア競技	日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。 高さ0. 90~1. 50m、幅1. 80m以下、10障害以内、 規定時間60秒とする。
第10競技	成年女子標準障害飛越競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準A, 238条2. 2を適 用する。高さ1. 20m以下、幅1. 40m以下、水濠幅3. 50m以下、10障害以内、速度350m/分、全長約500 m以内とする。
第11競技	少年スピードアンド ハンディネス競技	日本馬術連盟競技会規程最新版 基準C, 263条を適用す る。高さ1. 10m以下、幅1. 40m以下、12障害以内、 全長約650m以内とする。
第8-2競技	少年団体障害飛越競技 (準 決 勝)	(1 回 戦 と 同 じ)
第8-3競技	少年団体障害飛越競技 (決 勝)	(1 回 戦 と 同 じ)

5 人馬の参加資格

特別国民体育大会実施要項総則5に基づいた条件を有することのほか、次による。

- (1) 少年種別に参加するには、中学3年生を含む2009年4月1日以前に生まれた者から2005年4月2日以降に生まれた者とする。
- (2) 選手は、ブロック大会の参加申込みの時点で、公益社団法人日本馬術連盟の会員で、騎乗者資格B級以上の取得者であること。ただし、少年種別に参加する選手で、騎乗者資格B級以上の資格がない場合は、公益社団法人日本馬術連盟の会員であることのほか参加都道府県の馬術連盟会長が発行する技能証明書を公益社団法人日本馬術連盟会長宛に提出すること。
- (3) 参加馬は、公益社団法人日本馬術連盟の登録馬であること。
- (4) 馬匹は、参加都道府県を重複して出場することはできない。ただし、団体障害飛越競技の対戦相手チームに提供する馬匹を除く。
- (5) 本大会に出場する選手は、ブロック大会に必ず登録していること。予備登録の選手も同様である。
- (6) 本項に定める参加資格は、ブロック大会にも適用する。
- (7) 監督は、公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく、公認馬術コーチ1、公認馬術コーチ3のいずれかの資格を有する者であること。
- (8) 特別国民体育大会競技実施要項5の『(2) ア ブロック大会に参加する都道府県は、内国産馬を1頭以上含めること。』については、本大会のとおり個人競技に5頭以上出場する場合、必ず1頭以上内国産馬を出場させなければならない。なお、乗馬の変更がある場合も同様とする。また、個人競技に5頭以上出場する場合は、予備登録馬に内国産馬を登録することが望ましい。

6 競技規程

- (1) この競技会は、日本馬術連盟競技会規程最新版を適用する。
- (2) 申込後の選手の変更は、登録選手内で監督会議までに文書で申請すること。馬の変更については、予備登録馬の中から監督会議までに、診断書を添えて文書で申請すること。その出場の可否は、監督会議で決定する。追加申請は認めない。
- (3) 団体障害飛越競技は、参加県が1頭馬匹を用意し、その前段に乗ることとする。団体障害飛越競技メンバーは、3名の登録した選手の内2名で行う。
「順位決定」 ・ 3、4位は準決勝における提供馬の成績による。
・ 5~7位は1回戦における提供馬の成績による。
- (4) 選手は、個人競技と団体競技に重複して出場することができる。

- (5) 個人競技では、1頭が合計5種目まで出場できる。
1県が同一競技で出場できる数は、馬場馬術が1人馬、障害競技と国体総合馬術競技は2人馬以内とする。
- (6) 個人競技では、全種目を通じて出場は1人1種目1回、1人2種目までとする。団体障害飛越競技は枠外とする。
- (7) 選手及び馬匹は、同一種目に1回限りしか出場できない。
- (8) 乗馬服はF E I 規定を適用する。キュロットは男性、女性とも白またはオフホワイトとし、男性のネクタイは白、また女性はチョーカーを着用とする。(F E I 規定を適用) 障害飛越競技の場合は、必ず固定式顎紐付き乗馬用防護帽を着用すること。
なお、ブロック大会では所属する県名を明記しなくてもよいが、本国体では服装に必ず明記すること。
- (9) 天候による上着の着用の有無は、競技審判団の決定による。

7 総合成績決定方法

- (1) 各種目に次のとおり競技得点を与える。ただし、同順位の場合はその競技得点を共有し、次の順位を欠位とする。

・ 1位 = 7点	・ 2位 = 6点	・ 3位 = 5点	・ 4位 = 4点
・ 5位 = 3点	・ 6位 = 2点	・ 7位 = 1点	
- (2) 総合成績は、各県ごとに競技得点を合計しその得点の多い順に決めるが、同点の場合は当該県を比較し、上位入賞個人種目を多くもっている県を上位とする。

8 表彰

総合成績及び各種目の第1位から第3位までに賞状を授与する。

9 九州地区より本大会に出場できる人馬及び競技種目

- ・ 監督及びホースマネージャー 14人 (2人×7県)
- ・ 選手 35人 (個人競技33人+団体競技2人)
- ・ 馬匹 24頭 (個人競技22頭+団体競技2頭)
- ・ 出場枠数 78 (個人競技76+団体競技2)

10 本大会の決定方法

- (1) 総合成績上位より、次の表の範囲内でその実績を割り当てる。
- (2) 個人競技種目の各種目の優勝県に本大会出場の優先権を与える。
- (3) 少年団体障害競技の優勝県及び2位の県に本大会出場の優先権を与える。
- (4) 馬場馬術競技の優勝県は、当該馬場馬術種目への本大会出場を必須とし、出場なき場合、当該出場権は消滅し、その権利を他の種目へ換えることはできない。
- (5) 出場競技種目に何らかの理由で空白が生じた場合、総合成績上位順位に権利を獲得できる。(監督及びホースマネージャーを含む)

総合成績順位	個人		団体 (少年)		
	選手数	馬匹数	選手数	馬匹数	
1位	8人	5頭	2人	1頭	
2位	7人	5頭		1頭	
3位	6人	4頭			
4位	5人	3頭			
5位	4人	2頭			
6位	2人	2頭			
7位	1人	1頭			
合計	33人	22頭	2人	2頭	
九州ブロックの本国体出場数	成年男子	成年女子	少年		計
	12人	10人	13人 (11人+2人)		35人

1.1 参加申込方法

- (1) 所定のWebページ（国民体育大会参加申込システム）へアクセスし、必要項目を入力の上、当該県スポーツ協会を通じて、令和5年6月23日（金）までに申込手続きを完了すること。
- (2) 申込後の人馬の変更
 - ア 申込後は、人馬の変更をしない。ただし、申込みと同時に、予備登録選手を各種別（成年男子、成年女子、少年。ただし、団体障害飛越競技を除く。）に各々2名登録でき、予備馬を1県3頭登録できる。
 - イ 申込後の人馬の変更は、大会総則10（3）により、監督会議までに文書で申請する。馬の変更は、予備登録馬の中から監督会議までに、診断書を添えて文書で申請する。その出場の可否は、監督会議で決定する。追加申請は認めない。

1.2 参加上の注意

- (1) 個人競技の出場順番は、担当県が抽選によって決定する。
- (2) 団体障害飛越競技の組合せは、各県代表者による抽選で決定する。
- (3) 団体障害飛越競技に出場する県は、使用馬匹1頭を提供するものとする。
- (4) 馬匹の入厩は、令和5年7月14日（金）午前6時からとする。
 - ア 入厩時に、乗馬登録証及び馬匹健康手帳を事務局に提出するものとする。馬インフルエンザの予防接種は公益社団法人日本馬術連盟 馬インフルエンザ予防接種実施要領に基づき実施し、獣医師の証明があること。要領に則って実施していない馬匹については、入厩できない。
 - イ 退厩時には、馬房掃除を行い、係員の確認を受けること。
- (5) 馬糧等の支給幹旋はしない。
- (6) 輸送費は補助しない。
- (7) 参加人馬の事故に対しては、応急手当はするが、主催者はその責任を負わない。

1.3 熱中症対策について

- (1) 避暑用のテントを設置し、休憩場所を準備する。

1.4 その他

- (1) 監督会議
 - ・日 時 令和5年7月14日（金） 16:00～
 - ・会 場 豊後大野市営三重総合グラウンド三重馬術場審判棟
- (2) 監督会議（表彰式）
 - ・日 時 令和5年7月16日（日） 競技終了後
 - ・会 場 豊後大野市営三重総合グラウンド三重馬術場審判棟

特別国民体育大会馬術競技種目別九州ブロック出場枠一覧

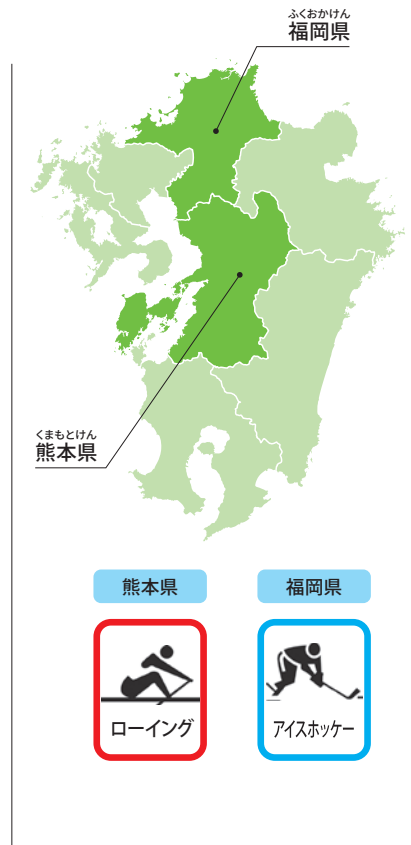
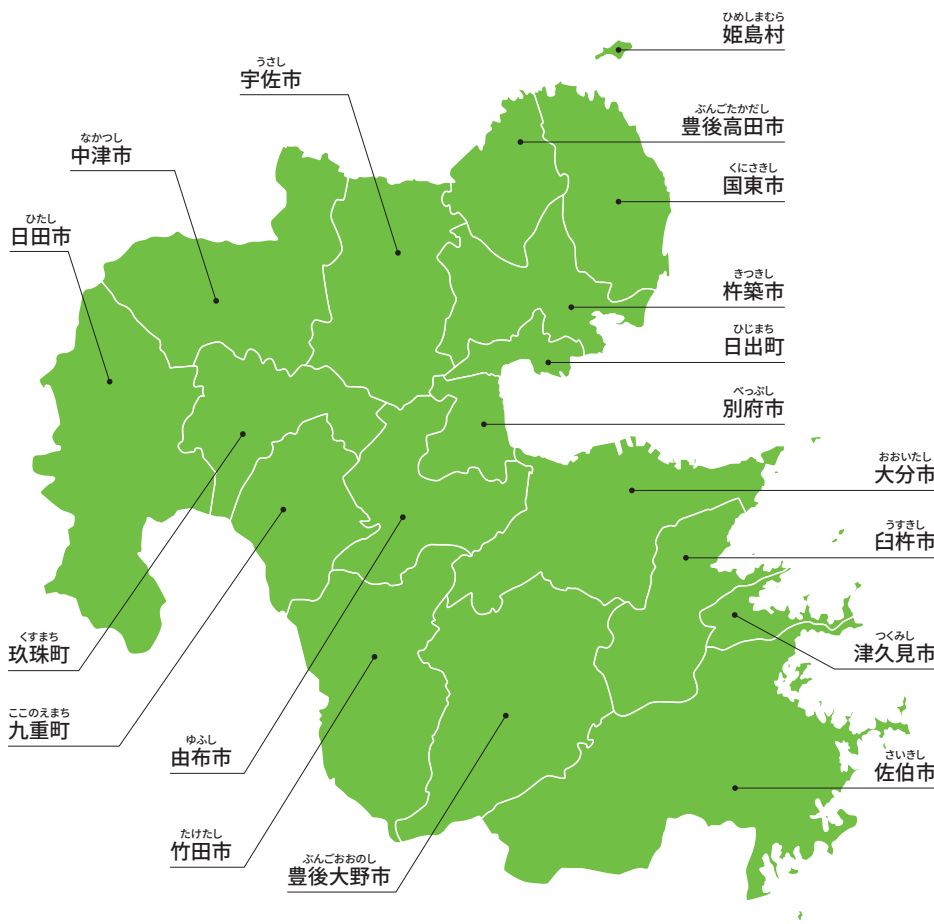
種別	競技種目	出場枠	出場権枠			
			1	2	3	4
成年男子	① 標準障害飛越競技	4				
	② スピードアンドハンディネス競技	4				
	③ ダービー競技	4				
	④ 国体総合馬術競技	4				
	⑤ 六段障害飛越競技	4				
	⑥ トップスコア競技	4				
	⑦ 馬場馬術競技	2				
	⑧ 自由演技馬場馬術競技	2				
	小 計	28				
成年女子	① 標準障害飛越競技	4				
	② 二段階障害飛越競技	4				
	③ トップスコア競技	4				
	④ ダービー競技	4				
	⑤ 馬場馬術競技	2				
	⑥ 自由演技馬場馬術競技	2				
	小 計	20				
少年	① 標準障害飛越競技	4				
	② スピードアンドハンディネス競技	4				
	③ リレー競技	4				
	④ ダービー競技	4				
	⑤ トップスコア競技	4				
	⑥ 二段階障害飛越競技	4				
	⑦ 馬場馬術競技	2				
	⑧ 自由演技馬場馬術競技	2				
	⑨ 団体障害飛越競技	2				
	小 計	30				
合 計		78				

大分県開催地一覧

夏季大会 5月28日(日)～8月13日(日)

秋季大会 8月17日(木)～8月27日(日)

冬季大会 12月2日(土)～12月3日(日)



大分市

※ 水泳 (水球)	※ 体操 (トランポリン)	※ 体操 (新体操)	体操
テニス	※ スポーツクライミング	空手道	ボウリング
ゴルフ	サッカー	ハンドボール	ソフトテニス
軟式野球	柔道	弓道	剣道
なぎなた	ボクシング	パレーボール	

別府市

水泳 (アスティックス/ミグ)	サッカー	軟式野球	銃剣道
-----------------	------	------	-----

由布市

ライフル射撃	アーチェリー	ラグビーフットボール
--------	--------	------------

中津市

サッカー	バスケットボール	バドミントン
------	----------	--------

宇佐市

ウエイトリフティング

玖珠町

ホッケー

九重町

ホッケー

豊後大野市

カヌー (スラローム/ワイルドウォーター)	馬術
-----------------------	----

杵築市

卓球	パレーボール
----	--------

日田市

フェンシング

竹田市

ソフトボール

※以外は(公財)日本スポーツ協会所有の国民体育大会関係標章